

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第3区分
 【発行日】令和6年10月7日(2024.10.7)

【公開番号】特開2023-129751(P2023-129751A)
 【公開日】令和5年9月15日(2023.9.15)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-175
 【出願番号】特願2023-110076(P2023-110076)
 【国際特許分類】

F 2 8 F 1/32(2006.01)

F 2 8 F 1/02(2006.01)

F 2 8 D 1/053(2006.01)

【F I】

F 2 8 F 1/32 F

F 2 8 F 1/32 V

F 2 8 F 1/02 A

F 2 8 F 1/32 G

F 2 8 D 1/053 A

10

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年9月27日(2024.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

冷媒と空気との間で熱交換を行わせる熱交換器(24)であって、

断面の長手方向と交差する第1方向に沿って並び、内部を冷媒が流れる、複数の扁平管(243)と、

30

複数の前記扁平管に対し、前記扁平管の断面の長手方向の第1端側から差し込まれ、複数の前記扁平管に接触している、風上側に位置する、複数の第1の伝熱フィン(241)と、

複数の前記扁平管に対し、前記扁平管の断面の長手方向の第2端側から差し込まれ、複数の前記扁平管に接触している、風下側に位置する、複数の第2の伝熱フィン(242)と、

を備え、

前記第1の伝熱フィンは、

隣り合う前記扁平管の間に差し込まれる、複数の第1差込部(241a)と、

40

前記扁平管の断面の長手方向の前記第1端の外側において、複数の前記第1差込部を接続する、前記第1方向に延びる、第1連通部(241b)と、
 を有し、

前記第2の伝熱フィンは、

隣り合う前記扁平管の間に差し込まれる、複数の第2差込部(242a)と、

前記扁平管の断面の長手方向の前記第2端の外側において、複数の前記第2差込部を接続する、前記第1方向に延びる、第2連通部(242b)と、
 を有し、

前記第1の伝熱フィンと、前記第2の伝熱フィンとは、風流れ方向に沿って離間している、

50

熱交換器（24）。

【請求項2】

暖房運転を行う空気調和装置（1）に備えられる、
請求項1に記載の熱交換器（24）。

【請求項3】

前記第1差込部の風下側の端部と、前記扁平管とは、前記扁平管の断面の短手方向に沿って離間している、
請求項1または2に記載の熱交換器（24）。

【請求項4】

前記第1差込部の風下側の端部には、リブ（241c）が形成される、
請求項1から3のいずれか1つに記載の熱交換器（24）。

10

20

30

40

50